



JA三井リース

# 中期経営計画 「 Real Change 2020 」

～独自性の追求による事業の発展を通じたプレゼンス向上と企業価値最大化～

JA三井リース株式会社

# はじめに



- JA三井リースグループは、グループ経営理念「Real Challenge, Real Change」を掲げ、「お客様の思い描くビジネスの将来」へ向けて、お客様とともに挑戦し続けることで「より良い社会と未来」の実現を目指しています。
- 2017年4月よりスタートする新たな中期経営計画「Real Change 2020」では、前中期経営計画にて推進してきた「変革と挑戦」のマインドを承継・発展させ、差別化されたビジネスモデルを複数構築するなど、独自性の発揮により、プレゼンスの向上と企業価値の最大化を目指してまいります。
- また、企業成長の基礎となる人材育成やダイバーシティーの推進等による人材力の強化と規律あるマネジメント態勢の確立に注力してまいります。

# 1. 中計「Real Change 2020」の概要

<p>名称</p>	<p>「Real Change 2020」 ～独自性の追求による事業の発展を通じたプレゼンス向上と企業価値最大化～</p>																
<p>期間</p>	<p>2017年4月～2020年3月</p>																
<p>基本方針</p>	<p>I. 専門性を極めたユニークな営業の柱の構築による収益の多様化          II. 戦略的アライアンス・買収を通じた事業推進力の強化          III. 経営資源の戦略的配分と成長を後押しする多様な人材力の強化          IV. 企業成長の基盤となる「規律あるマネジメント態勢」の確立</p>																
<p>定量目標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017年3月期(実績)</th> <th>2020年3月期(目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>238億円</td> <td>300億円</td> </tr> <tr> <td>ROA※</td> <td>1.53%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>営業資産残高</td> <td>14,616億円</td> <td>19,000億円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※信用コスト控除前営業利益/営業資産残高(%)</td> </tr> </tbody> </table>			2017年3月期(実績)	2020年3月期(目標値)	税引前当期純利益	238億円	300億円	ROA※	1.53%	1.6%	営業資産残高	14,616億円	19,000億円	※信用コスト控除前営業利益/営業資産残高(%)		
	2017年3月期(実績)	2020年3月期(目標値)															
税引前当期純利益	238億円	300億円															
ROA※	1.53%	1.6%															
営業資産残高	14,616億円	19,000億円															
※信用コスト控除前営業利益/営業資産残高(%)																	

## 2. 基本方針及び重点施策

### 基本方針Ⅰ. 専門性を極めたユニークな営業の柱の構築による収益の多様化

重点施策  
「モノ」「事業」「金融」起点のユニークな  
 ビジネス強化

- ① 「モノ」の市場価値・利用価値に着目したビジネスの拡大
- ② 事業開発型ビジネス・金融起点ビジネスの強化

重点施策  
成長分野・独自性発揮分野への注力

- ③ ICT分野の深耕による新ビジネスの獲得
- ④ 食農分野における当社機能の最大発揮

重点施策  
国内外エリアビジネスの収益力強化

- ⑤ 国内営業基盤の収益力強化
- ⑥ 海外営業収益の拡大

### 基本方針Ⅲ. 経営資源の戦略的配分と成長を後押しする多様な人材力の強化

重点施策  
経営資源の戦略的配分、人材力の底上げや役職員のモチベーションを高める施策の推進

### 基本方針Ⅱ. 戦略的アライアンス・買収を通じた事業推進力の強化

重点施策  
戦略的アライアンスの強化

- ⑦ 異業種とのアライアンスや企業買収による営業基盤・機能の拡充
- ⑧ 株主連携強化による国内外営業基盤の拡充

### 基本方針Ⅳ. 企業成長の基盤となる「規律あるマネジメント態勢」の確立

重点施策  
事務体制高度化や業務プロセス改善を通じた業務全体の最適化、メリハリのあ  
 るマネジメント態勢の確立

# 3. 戦略分野への取組み

## 独自性発揮・成長分野における新たな事業の柱の構築

- ▶ 中長期的な成長を実現する為、独自性が発揮できる食農分野や成長が期待できるICT分野において、新たな事業の柱を構築する。
- ▶ 専門性、商品・サービス力、パートナー連携等を活用し、お客様へファイナンス以外の領域までカバーする多様なソリューションを提供する。

### 独自性発揮分野

### 成長分野

主な事業領域

食農



ICT



関連する事業領域

アグリ分野

機械分野

流通分野

物流分野

環境・エネルギー分野

国内外ネットワーク

当社機能・アプローチ手法

専門性

知見  
目利き力  
情報収集力  
生産・金融・物流・商品等に対する国内外のネットワーク  
ファイナンス+αの商品開発力

商品・サービス力

リース・割賦・ファイナンス  
農機シェアリース  
中古農機売買  
ビジネスマッチング  
ベンダーファイナンス  
不動産・建物リース

パートナー連携

農林中金・JA系統  
三井物産・三井系企業  
食品・流通企業  
農業生産者  
メーカー・サプライヤー  
事業会社・金融機関

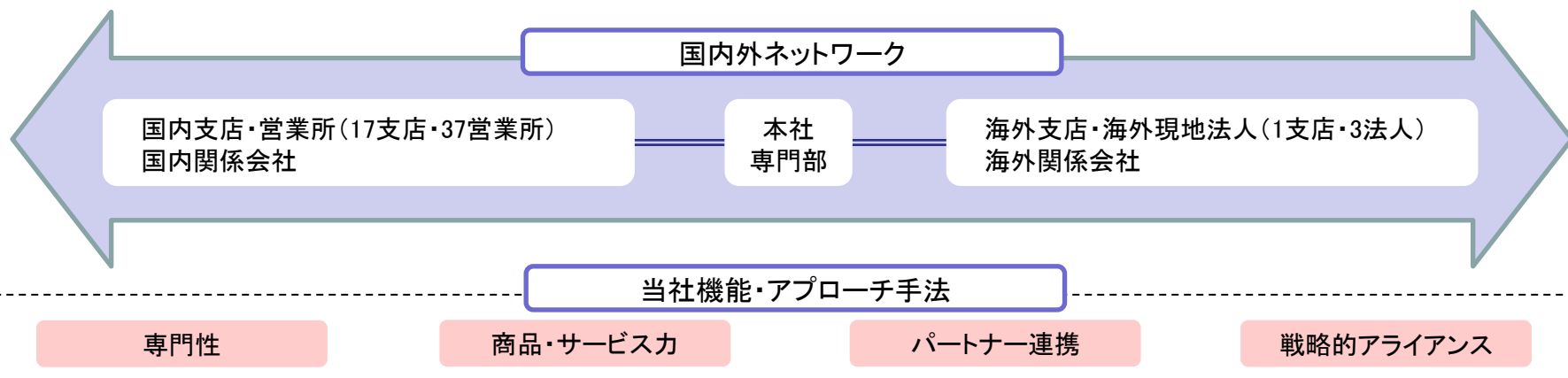
戦略的アライアンス

業務提携・合併事業  
出資・M&A  
事業参画

# 4. 注力分野への取組み

## 「モノ」「事業」「金融」起点のユニークなビジネス強化

- ▶ 当社機能・アプローチ手法を駆使して、「モノ」「事業」「金融」起点のユニークなビジネスを強化する。
- ▶ 本社専門部をハブとした国内外のネットワークを通じて、更なる収益力の向上とグローバル展開を進める。





**JA三井リース**

**JA三井リース株式会社**

©JA MITSUI LEASING, LTD., All rights reserved.